

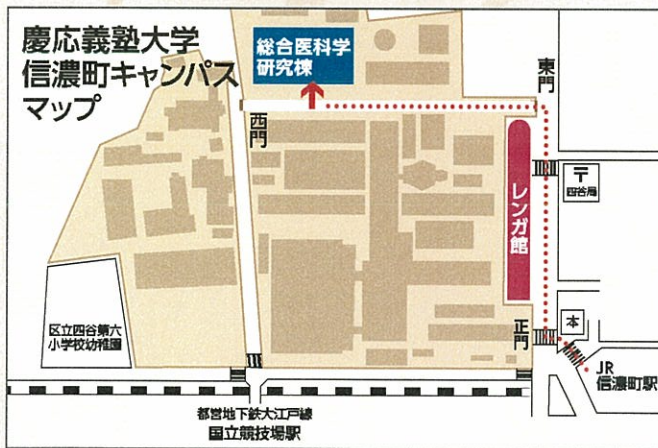
がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン
—高度がん医療開発を先導する専門家の養成—

大学間連携トランスレーショナル研究 キックオフシンポジウム

日時 2013年 **3月9日(土)** 13:00—16:10

本がんプロフェSSIONAL養成プランの各連携大学では、癌の免疫療法、バイオマーカー、新規抗癌剤開発、ドラッグデリバリーシステム、新たな診断装置開発など、臨床応用を目指した様々なトランスレーショナルリサーチ (TR) が進められています。本シンポジウムでは、このような取り組みをご紹介いただき、TRに関する大学間連携の可能性と新たな方向性を探っていきます。がんプロ大学院生・スタッフだけでなく、TRに関心のある医療関係者・研究者・学生の参加を広くお待ちしております。

場所 **慶應義塾大学信濃町キャンパス
総合医科学研究棟1F ラウンジ**



- 中央線・総武線「信濃町」駅下車、徒歩1分
- 都営大江戸線「国立競技場」駅下車(A1番出口)、徒歩約5分
- 丸の内線「四谷三丁目」駅下車(1番出口)、徒歩約15分
- 半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車(0番出口)、徒歩約15分

※公共交通機関をご利用いただけますようお願いいたします。

申込方法

webサイト【講演会・シンポジウム】
シンポジウム概要ページの応募フォームよりお申込みください。
<http://www.oncology.keio.ac.jp/>

問い合わせ先

慶應義塾大学 信濃町キャンパス学生課
がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン事務局
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
Tel: 03-5363-3665
Email: ganpro-jimushitsu@adst.keio.ac.jp

プログラム

開会の辞 13:00—13:10

河上 裕
(慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所(細胞情報研究部門) 教授
がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン 事業推進責任者)

シンポジウム 13:10—16:05

【座長】中島 秀明 (慶應義塾大学医学部 内科学(血液) 准教授)

- ① 基礎研究を臨床に転換するための戦略
佐谷 秀行 (慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所(遺伝子情報研究部門) 教授)
- ② 胃がんの超早期診断
伊東 文生 (聖マリアンナ医科大学 内科学(消化器・肝臓内科) 教授)
- ③ 固形がんの低酸素環境を標的とするDDS研究
—ヒト常在ビフィズス菌を運び屋として—
谷口 俊一郎 (信州大学大学院医学系研究科 疾患予防医学系専攻分子腫瘍学講座 教授)
- ④ 新規造血再生促進薬の開発
安藤 潔 (東海大学医学部 血液・腫瘍内科学 教授)

休憩 14:30—14:45

【座長】安藤 潔 (東海大学医学部 血液・腫瘍内科学 教授)

- ⑤ 口腔癌治療における再生医療
東 俊文 (東京歯科大学歯学部 生化学 教授)
- ⑥ 新しいイオン化法と機械学習を
応用したがん診断支援装置の開発
竹田 扇 (山梨大学大学院 医学工学総合研究部 解剖学講座細胞生物学教室 教授)
- ⑦ 気管支内視鏡検査サンプルを用いた
がん細胞初代培養法の開発
佐々木 治一郎 (北里大学大学院医療系研究科 呼吸器内科学 准教授)
- ⑧ 臨床技術向上のための医学物理教育
大谷 浩樹 (首都大学東京大学院人間健康科学研究科 放射線科学域 准教授)

閉会の辞 16:05—16:10

佐谷 秀行
(慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所(遺伝子情報研究部門) 教授)